

2016 第38回 明科いいまちサロン

家庭の備えと地域の連携(安曇野市協働のまちづくり出前講座)

平成28年9月27日(火) 10:00~12:00



出前講座資料準備の様子



宮川副代表お茶うけ説明



本日のお茶うけ 新米のおはぎと漬物



お茶をいただきながら団樂のひと時



本日の講師と一緒に



毎回出席される林市議



お茶を飲みながら資料の確認する参加者





宮川副代表の開会の挨拶 講師紹介



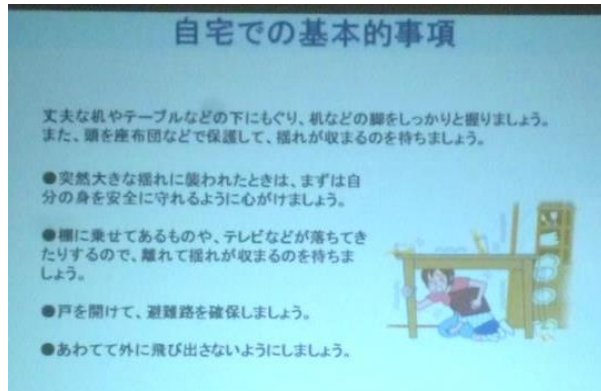
講師あいさつ(熊井係長 高木担当)



最近の地震から(熊本地震の様子)



自宅ではどのように備えたいのか



質問答える熊井係長



明科地域の構造線の地図



講師にお礼のあいさつをする安井公民館長



宮下さんの指揮で安曇野市歌を歌う



- 本日の第38回目のいいまちサロンは久しぶりの晴れ間ということで参加者は約50名とやや少なめであった。
- 明科地域の今後30年以内に大規模地震発生率が30%の確率で起こりうると評価されている中での講座ということで関心のあるテーマあった。中には松本市からの参加者もいました。
- 質疑応答の中で先日の土砂災害準備情報の防災無線の放送が聞き取れなかったとの質問に対し 安曇野市議会でも防災無線対策を問題視しており個人負担金は発生するが防災ラジオを「全戸配布を検討する」という市長回答があったとの林市議より説明があった。
- 安曇野市発行のハザードマップ再確認の必要性をあらためて感じる有意義な時間だった。